

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アジア・エネルギー安全保障セミナー	担当部局庁	経済局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度	担当課室	経済安全保障課	課長 大隅 洋				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－2 国際経済に関する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、アジア等の新興国・途上国の資源需要の増大、資源ナショナリズムの昂揚、低炭素社会への移行等により、資源価格の歴史的な乱高下をはじめ、様々な動きが見られ、資源・エネルギーを巡る情勢が大きく変化している。こうした中、国際社会において有限な資源の適切な開発・利用や資源産出国の持続的な発展を目指す多国間の取組が進展しつつある。我が国としても、エネルギー安全保障を強化するための我が国の取組のあり方について、小交際社旗の知見を取り入れつつ議論・検討する機会を設け、その成果を参考としながら、我が国の具体的な政策の策定に努める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	震災後の被災地の復興計画の中で、再生可能エネルギーの促進が重要な役割を占めていることを踏まえ、平成23年度は「被災地復興へ向けたスマートコミュニティ提案」をテーマとし、外務省・経済産業省・環境省主催、福島県共催で、福島市において開催し、在京大使館・地元住民・企業等約430名が参加。会議では、国内外の専門家や国際機関による、被災地復興のためにどのようなスマートコミュニティ作りをすべきか活発に意見交換・提案がなされた。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	5	5	4	4	4	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計	5	5	4	4	4		
	執行額	4	3	3				
執行率(%)	74.8%	56.6%	91.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	招待者に対する参加者数		成果実績	名	150	115	430	100
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	セミナー開催数		活動実績 (当初見込み)	開催回数/年	1	1	1 (1)	1 (1)
単位当たりコスト	3, 449(千円/1回)		算出根拠	年1回開催の実績額について算出。				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	4	4					
	計	4	4					

事業所管部局による点検				
	評価	項 目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		震災後、エネルギー政策の見直しが行われており、今後、被災地復興において再生可能エネルギーのより一層の推進が見込まれる中、再生可能エネルギーの活用に係る世界の先駆的事例を紹介する本セミナーは我が国のニーズに合致し、時宜を得た事業となった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		一般競争入札で業務委託を行っており、十分な競争性を確保している。 印刷物（報告書等）作成に職員自身が深く関与し、設備も最小限となる等、可能な限り経費節減を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		被災地で開催し、昨年の実績を大幅に上回る430名の参加を得ることで、再生可能エネルギー導入等を通じたまちづくりに関し、①国外の専門家等から被災状況を踏まえた具体的な提言を得ること、②被災地の地元住民・企業等が海外の先駆的事例を直接学び、これら専門家から引き続き助言を得られるような人的ネットワークを構築することが、極めて効率的に実現できた。特に復興に海外の知見を活かすとの観点からのセミナーの企画や、その成果としての世界と被災地とのネットワークの構築は、外務省でしか果たせない役割と、参加者・地元からも高い評価を得た。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	震災後の被災地のニーズに合わせ、我が国のエネルギー政策の見直しや被災地復興の観点から、再生可能エネルギーの導入等を通じたまちづくりを世界から学び、被災地の取組を世界に発信するという時宜を得たセミナーを開催することができた。今後とも、被災地復興への支援という観点から本年度セミナーの成果のフォローアップにも配慮しながら、国民のニーズと時宜に合致するテーマの下で本事業を継続していきたい。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	事業見直しによる減 単価見直しによる減			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減	同セミナー開催事業に関し、会議参加人数の見直し及び謝金単価の見直しによる減。			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				

個別事業名： アジア・エネルギー安全保障セミナー

※平成23年度実績を記入

外務省
3.4百万円

アジアにおけるエネルギー安全保障の強化につき経験、知見を有する我が国が
リードし、中長期的なアジア地域のエネルギー安全保障強化のための方策につい
て官民一体となり意見を交換し、検討するためのセミナーを開催する

【一般競争入札】

A.(株)ステージ
3.4百万円

上記概要のセミナー開催につき、外務省より
委嘱契約の上実施する。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

個別事業名： アジア・エネルギー安全保障セミナー

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	会場設営・必要人員の手配・音響・同時通訳機器等の手配	2.7			
その他	会議開催経費(会場借料、謝金)旅費等	0.7			
計		3.4	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名: アジア・エネルギー安全保障セミナー

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ステージ	セミナー全般運営業務	2.7	3	79%
2	その他	会議開催経費(会場借料、謝金)旅費等	0.7	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					